

「が りゅう へび臥龍蛇の勢い」で 邁進していく



南阿蘇村長 き ら 吉良 せい いち 清一

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆さまにおかれましては、令和7年の新春を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から村政運営に対しまして格段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、多くの日本人選手の活躍により日本中が歓喜に包まれました。しかし一方では、国際紛争や物価高騰など不安定な社会情勢が続いています。一刻も早く平穏な社会が訪れることを願って止みません。

さて、昨年4月には二つの嬉しい出来事がありました。一つは、民間の有識者らで作る「人口戦略会議」による「地方自治体持続可能性分析レポート」にて「自立持続可能性自治体」と評価されたことです。本村は若年女性の減少率が県内で最も低く、しかも10年前「消滅可能」で今回「持続可能」となったのは県内では本村のみでした。皆さまの努力により大きく数値を伸ばすことができ、心から感謝申し上げます。

もう一つは、初めて実施された道の駅総選挙で「道の駅・あそ望の郷」が初代王者に選ばれたことです。こちら関係者の皆さまのご尽力の賜物です。

道の駅は農産物や特産品の魅力を発信する場として重要な役割を担っています。さらに魅力的な場所となるよう、皆さまと力を合わせ進めてまいります。

さらに、SDGs未来都市に選定されていることから、持続可能な村づくりを継続して取り組んで

います。中でも水資源の保全事業に力を入れており、草原は水源涵養機能に優れていることから、野焼きなどの草原維持活動を支援しています。また、昨年からはじめた雨水湛水事業は、川への流量を減らし、涵養量を増やすことで地下水保全へ繋げています。

本村は、今年2月に合併20周年を迎えます。1月19日には記念式典を行い、熊本地震からの復旧復興を祝うとともにさらなる飛躍を誓う式典となるよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本年も「誰もが住みたい・住み続けたい南阿蘇村」を目指し、村民が心から誇りに思う村の実現に向けて「が りゅう へび臥龍蛇の勢い」の精神で昨年からはさらなる勢いをつけていけるよう邁進してまいります。村民の皆さまのなご一層のお力添えをよろしくお願いたします。

最後に新春の門出にあたり、皆さまにとりまして健やかで幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



村制20周年 おめでとうございます

やまむろ あきのり
南阿蘇村議会議長 山室 昭憲

謹んで新春のお祝詞を申し上げます。

村民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より本村議会に温かいご理解とご支援をいただいておりますことに、議会を代表して心から厚くお礼申し上げます。

さて、去年は元日早々に能登半島地震が発生、被災された多くの方々が無事に不自由な生活を送られています。一日も早く穏やかな日常を取り戻されることを、願うばかりであります。

本村においては、熊本地震からの復旧復興、そしてコロナ禍からも一定の区切りがつき人流や物流、経済活動などの動きが活発化していると感じておりますが、一方で原油高、円安による物価の高騰や個人消費の低迷によりまだまだ厳しい状況が続いております。議会と致しても今後も引き続き経済の活性化、村民の皆さまが安心安全に暮らせる村づくりに向け万全を期してまいります。

一方、昨年2月には、昭和58年に着工された阿蘇立野ダムが完成、それに先立つダム本体や周辺の安全を確認する試験湛水が実施され、満水を迎え壮大なダム湖の姿に多くの観光客が押し寄せ大変な賑わいでした。そして現在、ダム周辺では情報発信と地域活性化交流拠点として多目的記念館(仮称)を建設中であり、同じ敷地を走る南阿蘇鉄道とダムが隣接する珍しさから、ダムに一番近い阿蘇立野ダム駅という新駅構想もあり、立野ダム周辺が新たな観光資源として大いに期待されます。

また、矢部阿蘇公園線は、昭和57年に国道を補完する幹線の役割をもつ主要地方道に指定され現在に至っています。当路線は令和2年度の整備以降事業が中断されています。未供用区間の早期整

備について要望活動を続けていますが、路線について複数の見解もあり、今のところ進展が見通せない状況であります。私たちは、先輩方から引き継がれているトンネルによる全線開通を、地元整備促進期成同盟会と力を合わせ、今後も強く国・県へ要望してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年、南阿蘇村が誕生して20年を迎える節目の年であり、今年19日には、記念式典の開催が予定されています。

この間、議会では議員定数の削減、議会基本条例や議会議員政治論理条例の制定など議会改革に取り組み、二元代表制の一翼を担う意思決定機関としての責任を担う議会を目指してまいりました。

村制20周年を皆様方と一緒に祝いすると共に、新たな気持ちで本村、村勢の限らない飛躍と発展を執行部と一丸となって推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに新しい年が村民の皆さま方にとりまして幸多く、輝かしい年になることを心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

